

ユーロ圏企業の景況感は製造業だけでなくサービス業でも弱含み



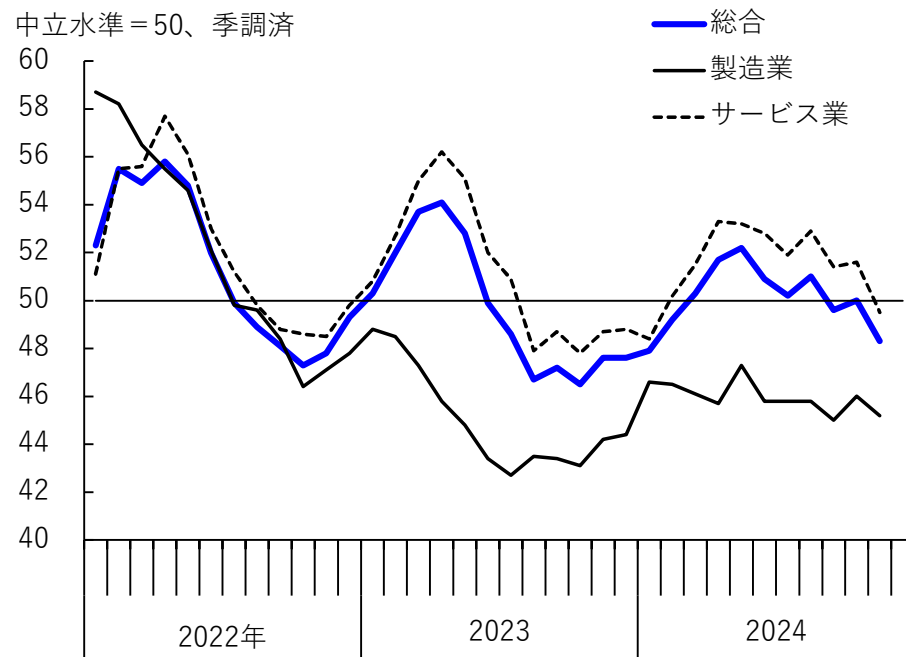
欧州経済

- 11月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は48.3と前月（50.0）から低下し、好不況の目安である50を再び下回った。サービス業のPMIが10か月ぶりに節目の50を割り込むとともに、製造業も再び低下した。
- 10月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.5%と、4か月ぶりに低下した。
- 11月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.3%と、2か月連続で伸びが加速した。一方、エネルギーや食品などを除いたコア指数は同+2.7%と、10月と同じ伸びになった。
- ユーロ圏景気の回復が鈍い中で、金利先物市場ではECB（欧州中央銀行）が次回12月12日の理事会で0.25%の追加利下げを決定すると予想している。

- 11月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は48.3と前月（50.0）から低下し、好不況の目安である50を再び下回った。サービス業のPMIが10か月ぶりに節目の50を割り込むとともに、製造業も再び低下した。
- 11月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが47.2と前月の48.6から低下した。またフランスは45.9と前月の48.1から大幅に低下した。

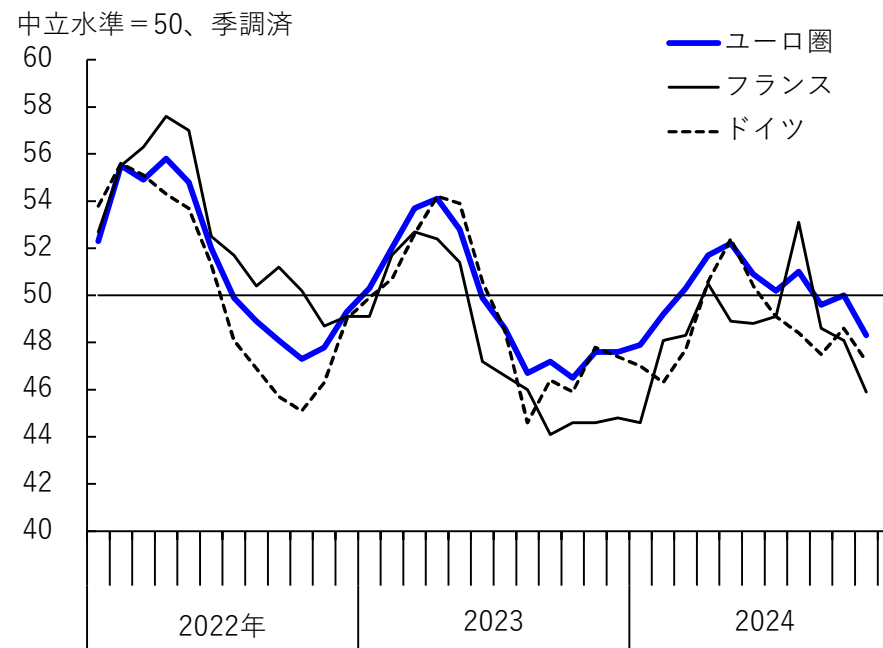
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI



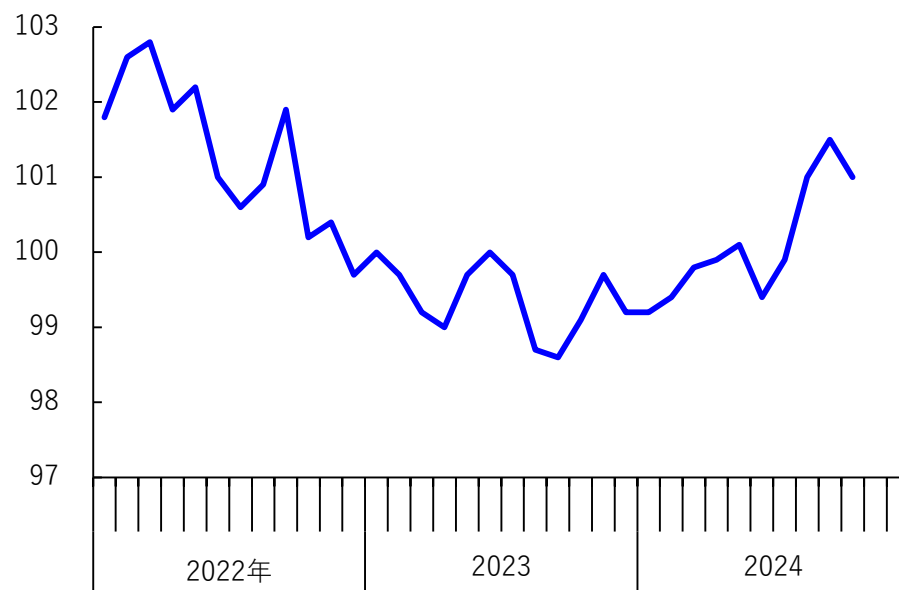
出所：S&Pグローバル



- 10月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.5%と、4か月ぶりに低下した。
 - ー食品・飲料・たばこが前月比+0.1%と増加に転じたものの、非食料品（除く自動車燃料）が同-0.9%、自動車燃料が同-0.3%となった。
- 11月のユーロ圏消費者信頼感指数は-13.7と、前月から低下（悪化）した。悪化は3か月ぶり。
 - ーイタリアの消費者信頼感指数が改善する一方で、ドイツやフランスの指数が悪化した。

ユーロ圏小売売上高指数

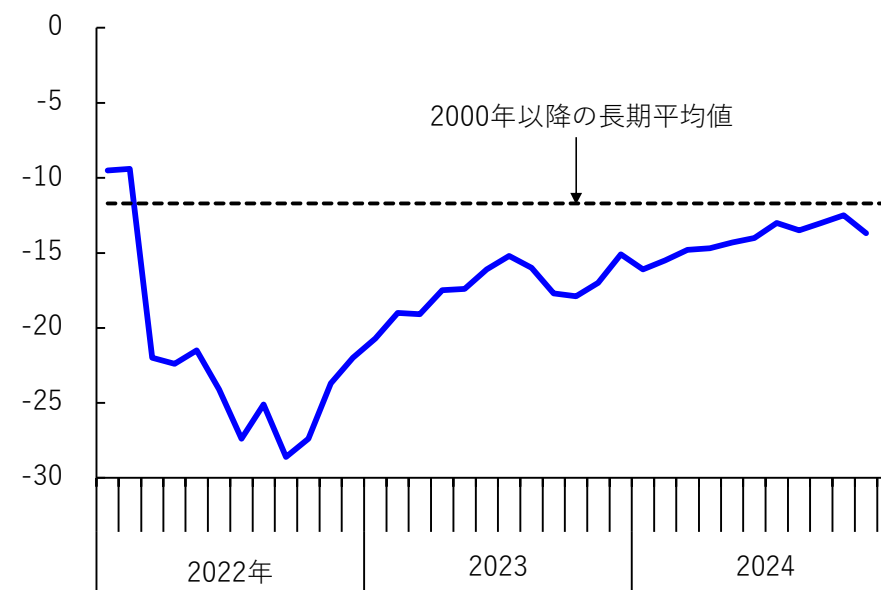
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

ポイント、季調済



出所：欧州委員会

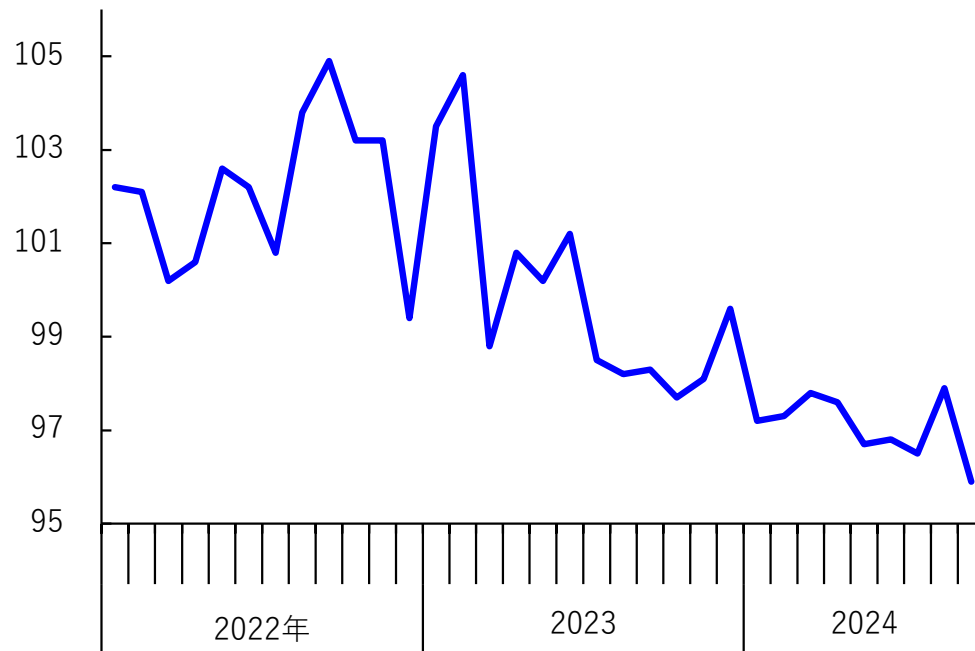
9月の鉱工業指数は低下に転じた。 建設業活動指数も小幅に低下。



- 9月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-2.0%と低下に転じた。財別には非耐久消費財の生産が増加する一方で、エネルギーや資本財の生産が減少した。
 - ー国別にはドイツ（前月比-2.7%）やフランス（同-0.9%）などで生産指数が低下した。
- 9月のユーロ圏建設活動指数は前月比-0.1%と小幅に低下した。
 - ーイタリアの建設活動指数が前月比+2.2%と上昇する一方で、ドイツが同-1.4%、フランスが同-0.3%と低下した。

ユーロ圏鉱工業生産指数

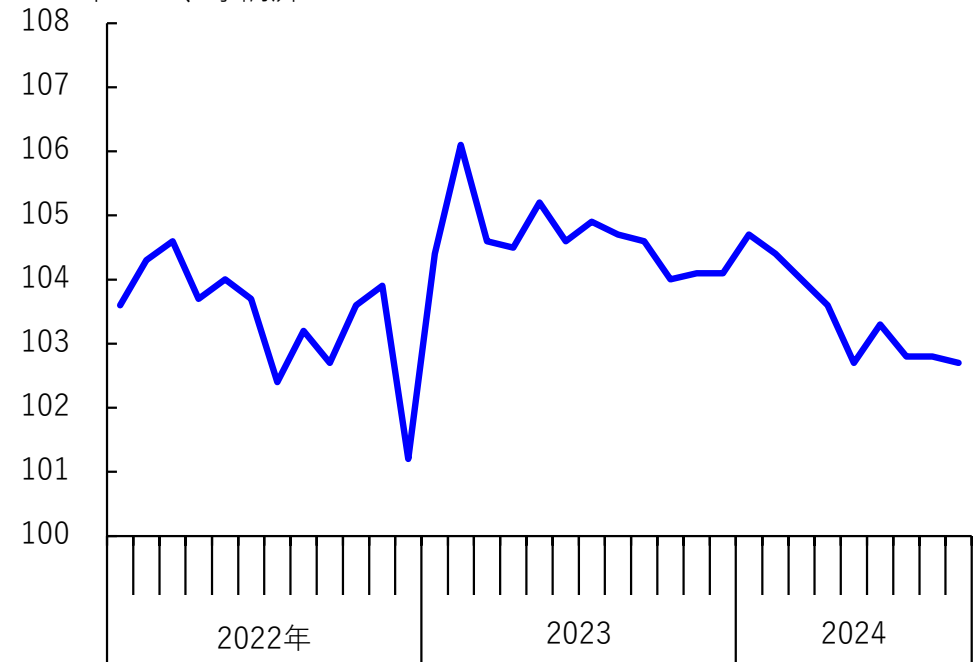
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数

2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

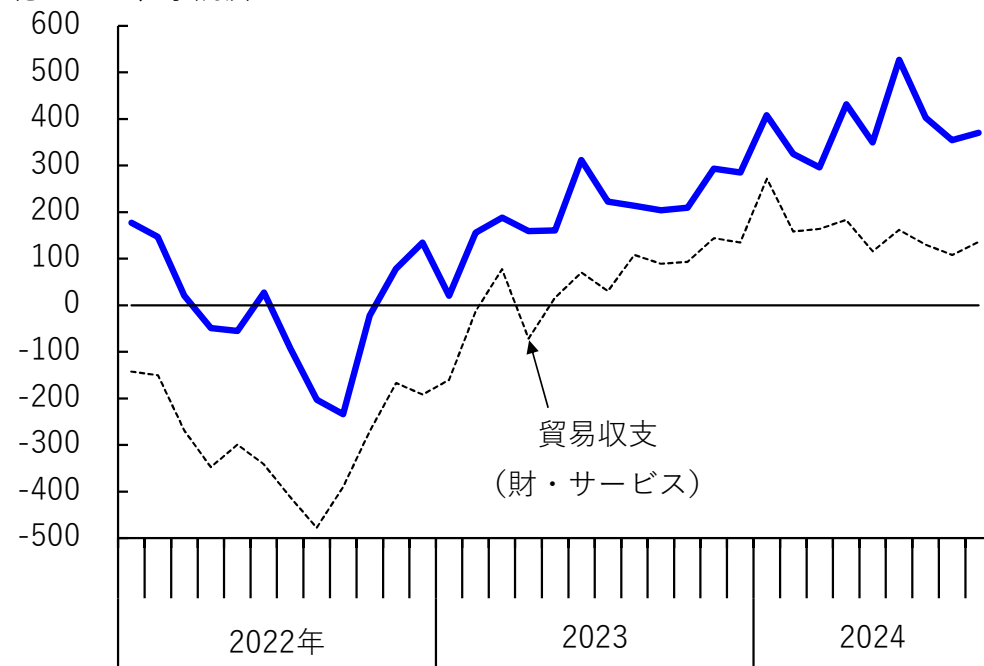
9月の貿易収支は輸出の増加などを受けて黒字幅が拡大



- 9月のユーロ圏の経常収支黒字（季調値）は370億ユーロと、前月に比べ拡大した。
 - －同月のユーロ圏の貿易収支黒字（季調値）も135億ユーロと、前月から拡大した。
- 9月のユーロ圏の財の輸出（原数値）が前年比+0.6%と小幅ながらも増加に転じる一方で、財の輸入は同-0.6%と2か月連続で前年割れとなった。
 - －なお、季調値でみると、9月は財の輸出が前月比+0.4%と増加に転じる一方で、財の輸入が同-0.8%と減少に転じた。

ユーロ圏経常収支

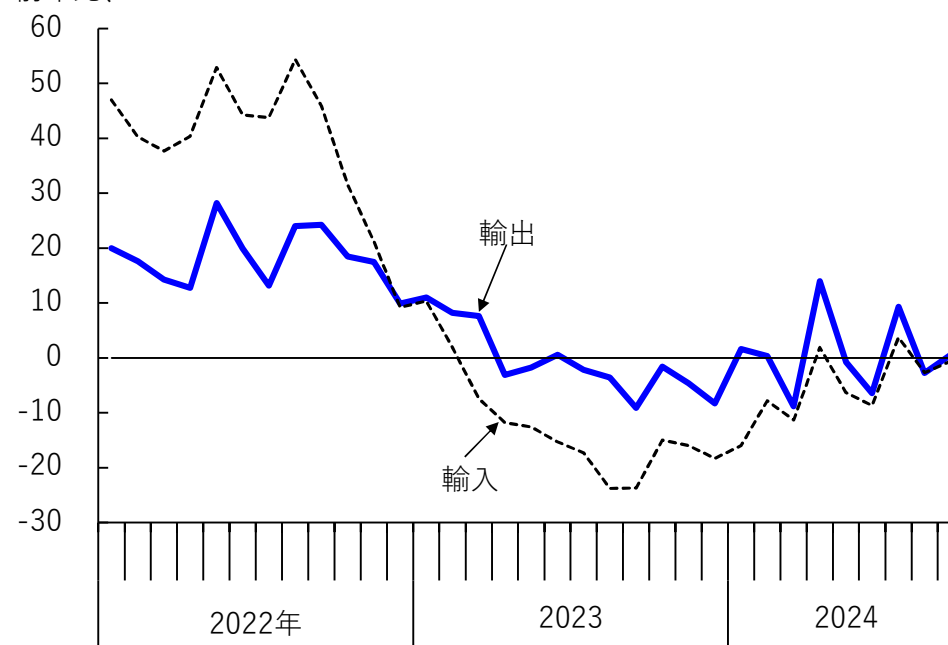
億ユーロ、季調済



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入

前年比、%

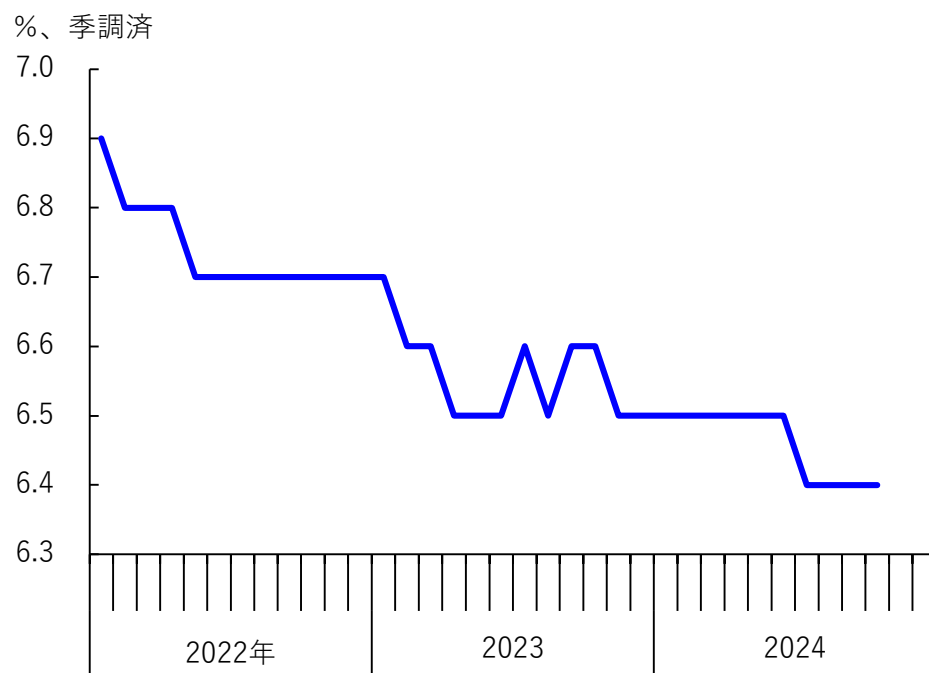


出所：欧州委員会統計局



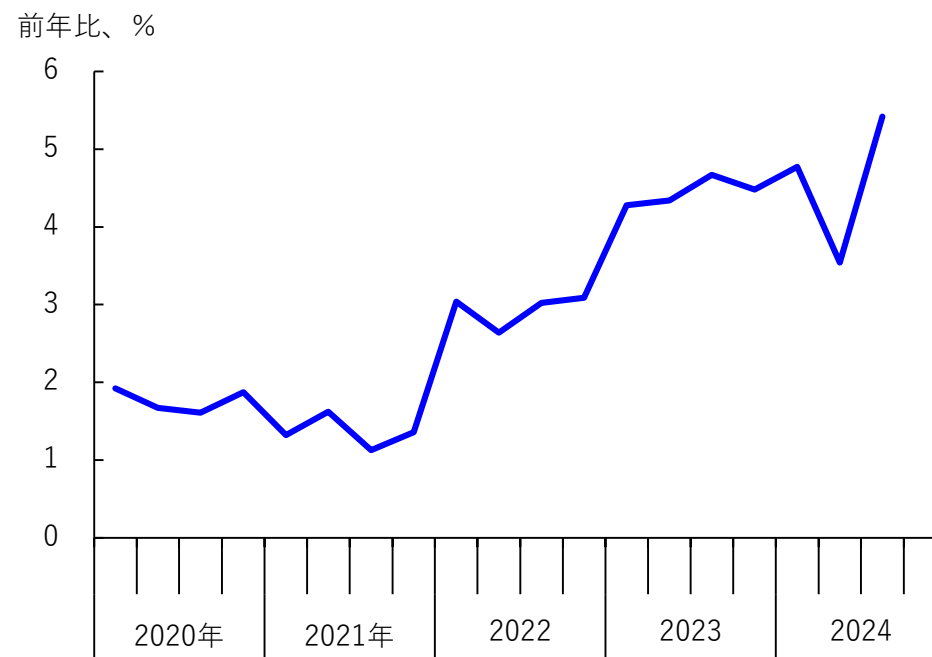
- 10月のユーロ圏の失業率は6.4%と、前月から横ばいとなった。
 - －イタリアの失業率が前月から0.2%ポイント低下（改善）する一方で、フランスが0.1%ポイント上昇（悪化）した。ドイツは横ばい。
- 7～9月期の妥結賃金は前年比+5.42%と、4～6月期の同+3.54%から伸びが加速した。
 - －妥結賃金の伸びの加速は、先行き欧州中央銀行の利下げペースの鈍化に繋がる材料となる。

ユーロ圏失業率



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏妥結賃金



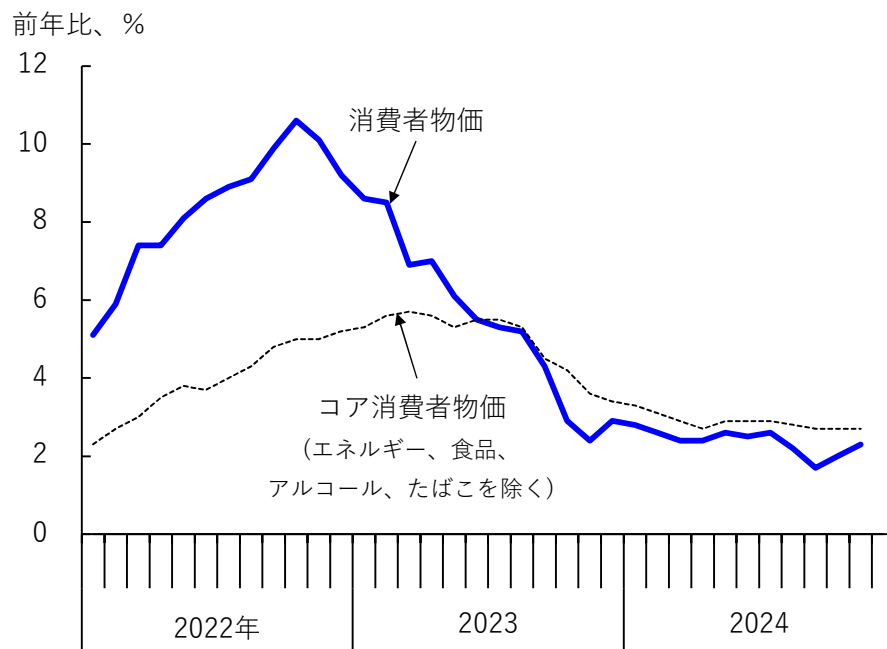
出所：欧州中央銀行

11月の消費者物価は2か月連続で伸びが加速



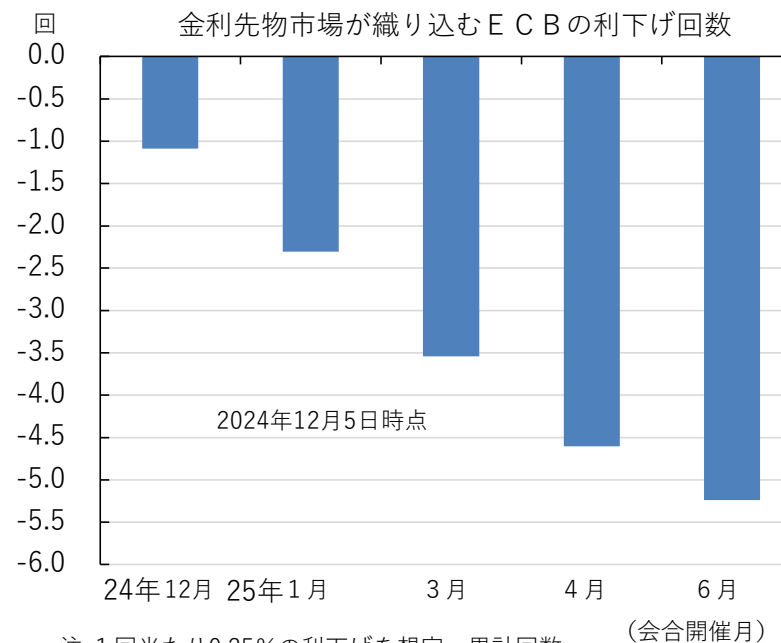
- 11月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.3%と、2か月連続で伸びが加速した。一方、エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.7%と、10月と同じ伸びになった。
ー品目別には、エネルギーが前月比-1.9%と10月（同-4.6%）と比べてマイナス幅が縮小。一方、サービスは同+3.9%と10月（同+4.0%）から伸びが若干鈍化した。
- ユーロ圏景気の回復が鈍い中で、金利先物市場ではECB（欧州中央銀行）が次回12月12日の理事会で0.25%の追加利下げを決定すると予想している。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2024年11月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

金融市場の利下げ予想



注:1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。
なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



2024年12月6日
調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5